

平成27年
12月号

第45号



今年も残すところ、あと一カ月になりました。皆様今年は良い年になりましたでしょうか？
毎年感じるのですが、時が経つのが物凄く早く感じます。今年は特にそう感じます。
年始めにあすなろに皆が集まって年始のあいさつから始まり、西宮の十日戎、春・夏野菜の種まきに苗植え、田植え、お盆に秋冬野菜の種まきに苗植え、稲刈り、黒枝豆の収穫と色々ありましたが、全てついでこの間の事のように思えてなりません。来年はどんな年になるのでしょうかね。さて畑では秋冬野菜が無事に生育して収穫できました。
あすなろ喫茶室前で販売しております。また今年初めて作ったお米も販売しております。ぜひお買い求めの上、御賞味下さい。最後に今年一年メンバー・職員一同けがや事故もなく、おかげさまで無事に過ごす事ができました。来年もそうあります。来年もメンバー、職員一同これまで以上に頑張って参りますので、これからも宜しくお願い致します。それでは皆様、よいお年をお迎え下さいませ。
今年1年本当に有難う御座いました。来年も、宜しくお願い申し上げます。



フライングハウゼン&A.Yのポケット取材シリーズ かねふくめんたいパーク神戸三田に行ってきたの巻

10月28日(水曜日)に筆者とA.Yさん、元新鮮組のキムさんと一緒にかねふくめんたいパークへ行って来ました。建物は大きく屋根に明太子のマスコット看板が付いていてカラフルでした。入口を入ると明太子の原料となる原卵はどの魚から取れるのかやスケソウダラの生態、明太子の豆知識などが展示されていました。すぐ隣には、フードコーナー、休憩所、明太子の試食コーナー、お土産のコーナーなどがあり大勢の人で賑わっていました。筆者も明太子の試食をさせて貰いました。
卵のプツプツ感がとてもあって味も良く美味しかったです。フードコーナーで休憩して明太子ソフトクリームを食べました。甘さ控えめで、後でピリッと辛みが来てこれまた美味しかったです。休憩所を出て奥に行くと、アミューズメントコーナー、無料工場見学コーナーがあり、工場見学の方へ行きました。中に入ると窓越しに工場の作業場が見え、色違いのエプロンをした従業員の方が明太子を作っておられました。また原卵の下ごしらえから漬け込み、熟成、包装までの製造工程や工場内のレイアウト生産数、従業員数、エプロンの色の説明などが展示されていて、大変勉強になりました。またこの工場は完成した明太子を厳正な検査をして、検査に合格した明太子しか出荷していない、機械まかせではなく人間の手・目・口などで丁寧に厳正に作業をしておられるなあと感心しました。かねふくめんたいパークへはJR三田駅、フラワータウン駅から無料送迎バスが出ており、比較的近場にあるので、また機会があれば行って来ようと思います。あとこの明太子はとて美味いので、ぜひ一度ご賞味して下さい。



フライングハウゼンの独り言 筆者が通っている絵画教室主催の第8回 チャリティーアートフェスタの開催日が決まるの巻

筆者が通っている絵画教室の年末チャリティー展覧会「第8回チャリティーアートフェスタ」が12月18(金)、19(土)、20(日)の3日間、午後18時～21時に開催されます。場所は有馬富士公園共生センターです。主に学院生の絵画やイラスト作品の展示、チャリティーグッズの販売が行われます。今回は開催場所が少々遠いのと、開催時間が遅く、交通もバスのみで、行き帰りのバスの本数が少なく不便ですが、皆様もぜひ機会があればお越し下さい。尚、第8回チャリティーアートフェスタの内容は来月号に紹介したいと思います。

聖ブリージット芸術学院 第8回 チャリティーアートフェスタ
日時: 2015年12/18(金)～20(日)
会場: 有馬富士公園共生センター
お問い合わせ: (079)564-8116 (聖ブリージット芸術学院)



現在色塗り制作中

お問い合わせ
(079)564-8116

(聖ブリージット芸術学院)まで

第4回目

施設におじゃまして～す

第3回目は神戸市北区有野町にある「野いちごの会」で1日体験をしました。

11月9日(月曜日)、私は神戸市北区有野町にある「野いちごの会」に一日体験をしましたのでレポートします。

一日の流れとしては、朝9時40分に朝礼があり、一人ずつ挨拶を交わした後、一日の作業内容を指導者の方から教わりました。朝9時50分に作業が始まり、1時間置きに10分休憩を挟んで各役割分担に分かれて行きます。部屋の入場と退場の際には、衛生管理の予防の為、専用帽子の取り外しとローラクリーナーで汚れをふき取ります。当日私が体験した内容は「野いちごの会」の内職でした。午前の部の作業工程の内容は青粒を袋詰めにする内容ではじめに指導者の方が手本を見せて貰った後に丁寧に指導をして頂きました。袋に青粒を入れる際に手際が悪く、余り器用ではないので、ゆっくり慎重に入れていきました。私の隣でしていた方は、はじめの内は同じ作業をしていましたが、段取りが早く次の工程に移っていました。そこで担当者の方が「焦らなくてもいいよ」と言ってくれましたが、落ち着きがなくなりました。少し焦り気味になり自分のペースが落ちて来ましたが、その後、気持ちを切り替えて自分のペースを取り戻す事が出来ました。午前11時の休憩を挟んだ後、次の工程に移りました。次の作業工程はアルミのシール貼りで、アルミを縦にして四隅にシールを貼って行きます。最初はアルミの向きに気付かずにそのまま貼ってしまい、作業にミスが出た時はご迷惑をお掛けしましたが、急いで手直しをして次の段取りに移る事ができました。昼食休憩を挟んで午後の部の作業に入り、午前中の作業の続きでアルミにシールを貼る際に、向きや角度を間違えないように確認を取りながらゆっくり行いました。作業に慣れはじめてきて自分のペースが徐々に早くなり、アルミの枚数を増やして、アルミにシールを貼る作業を繰り返して行いました。私の隣の席で作業をしていた利用者さんは、シールが貼られたアルミを袋に入れる作業の後、袋を積み重ねて、手で上から押し込んだ後、箱の中へ詰め込む作業をしていました。残りの時間はアルミのシール貼りの作業をして時間通りに終わりました。利用者さんは皆、時々会話をしながら楽しく取り組んでいました。



一日の体験を終えての感想は、今回の作業で初めて触れる際に、慣れない手付きで作業に取り掛かると器用に出来ず、どうしても不器用になってしまいます。今回は自分にとっても困難で難しい試練だと思ってしまい、それを乗り越えるために何度もチャレンジをして努力を積み重ねても到達点にはなかなか届かないままでした。自分は何かを失敗をしようと思ってしまうがちで悔やむばかりですぐに落ち込んでしまうけれど、その成果が自分にとってもプラスになるような事ならば、器用になれるまで精一杯頑張っ勝負せず劣らずに心掛け、心折れずに踏ん張りたいと思います。先日は貴重なお時間の中、体験に参加させて頂き有難う御座いました。また親切な対応をして下さり厚く御礼申し上げます。またこのような機会がありましたら宜しくお願い致します。